

市誌編さんだより ◆◆◆◆◆ Vol.25

◆ 新編高浜市誌『高浜市のあゆみ』を刊行しました!! ◆



▲『高浜市のあゆみ』表紙

新編高浜市誌『高浜市のあゆみ』がついに刊行されました。昭和51年(1976年)に刊行した『高浜市誌 第二巻』から45年、この間に蓄積された新しい資料にもとづきながら、改めて高浜市の歴史や文化についてまとめた本です。

戦国時代や江戸時代といった「過去」だけではなく、アジア・太平洋戦争後の「現代」、つまり私たちが生きている今の時代についてもできるかぎり書き記し、今を未来へ正確に伝えることにも力を入れてつくりました。

これまで知られていなかったこと、知られてはいたけれど当たり前だったことが、実はほかのまちにはない、高浜市の大きな宝物だった。そんな発見がたくさんできる1冊です。皆さん、ぜひ1度手に取ってみてください!

1冊 2,500円(税込)

文化スポーツグループ窓口(いきいき広場3階)、かわら美術館ミュージアムショップにて販売予定です。

『高浜市のあゆみ』 発刊にあたって

高浜市誌編さん委員会

委員長 曲田 浩和



この度、50年ぶりに『高浜市誌』がリニューアルしました。読んでいただくと、長く高浜市域に住んでいる方はとても懐かしいと感じるでしょう。また、近年みえた方は、かつてこのまちが、どのような歴史をあゆんできたかを知ることができます。

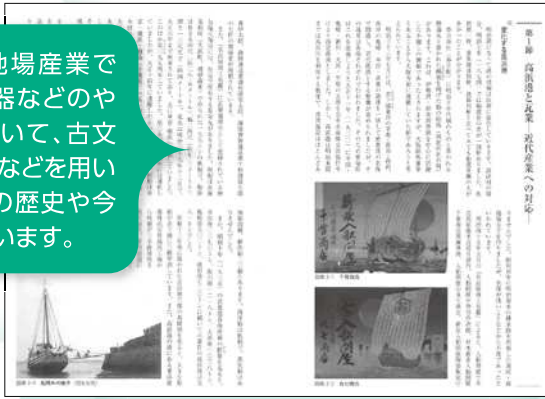
皆さんの興味・関心があるところから読んでみてください。きっと、これまで気づけなかった新しい発見がたくさんあることと思います。

新編高浜市誌 『高浜市のあゆみ』の おもな特徴

- ①この1冊で、先史・古代から現代までの高浜市のあゆみが概観できます。
- ②約450ページ、オールカラーです。
- ③写真や図などのビジュアル資料を多く掲載して、「見やすい」「わかりやすい」を追求しました。
- ④巻末には年表が掲載され、さらに高浜市文化財マップが付録としてついています。調べ物やまち歩きなどに活用できます。

『高浜市のあゆみ』を少しのぞいてみましょう…

高浜市の地場産業である瓦、土器などのやきものについて、古文書や古写真などを用いながら、その歴史や今を解説しています。



図表や写真をたくさん使い、読みやすく、わかりやすいものをめざしました。

高浜市ならではの文化財として、鬼瓦工場の建物を紹介しています。外観や内部を撮影した写真だけでなく、間取りなどを記録した図面を、この本のために作成しました。



今まさにわたしたちが生きている「現代」については、豊富な統計データなどからグラフや表を作成。また、市内での聞き取り調査もふまえながら執筆しています。

高浜市のあゆみを“つむぐ・つなぐ”活動は続きます

新たな市誌は完成しましたが、別冊資料編である『高浜市のあゆみ資料』(右写真)の発刊、講座やシンポジウムの開催など、これからも高浜市の歴史を掘りおこし、記録・記憶をつむぎ、未来へとつなぐ取り組みを進めていきます。



これまで別冊資料として発刊した「聞き書き」の内容を再編集し、話のテーマごとに掲載しています。



平成29年1月1日号『広報たかはま』から連載してきたこの「市誌編さんだより」ですが、『高浜市のあゆみ』発刊を告げるこのvol.25をもって最終回となります。長きにわたり、市誌編さん事業への理解と協力を、本当にありがとうございました。

今後の『高浜市のあゆみ』を活用した取組みについては、引き続き『広報たかはま』で紹介していきます。なお、裏表紙の「たかはまアーカイブ」はこれからも続きますので、こちらも楽しみに。

◇自宅や地域に、高浜に関する書物、写真、チラシなど(とくに明治時代～昭和)がありましたら、ぜひ情報を寄せてください。
◇市誌編さんに関する内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページでも紹介しています!

問合せ先 [いきいき](#) 文化スポーツグループ ☎52-1111(内線330)